

卷末資料 調查票



専門学校在校生対象 調査票

小田原短期大学 保育学科 通信教育課程(男女共学) に関するアンケート

小田原短期大学では、2016年(平成28年)4月より、「保育学科 通信教育課程」の入学定員を増やす計画を立てています。

このアンケートは、専門学校在校生の皆様の進学に対する考えやご意見をお伺いし、小田原短期大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「保育学科 通信教育課程」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	1. 男性	2. 女性
在籍している 学校名	[]	都・道・府・県 [] 専門学校・専修学校

◆今後進学してみたい学校と、興味のある学びについてお聞きします。

Q1. あなたが、今後進学してみたいと思う学校の種類を教えてください。

以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- | | | |
|------------|----------------|----------------|
| 1. 短期大学 | 3. 大学院 | 5. その他() |
| 2. 大学(編入学) | 4. 別の専門学校・専修学校 | 6. 現在、進学の予定はない |

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。

以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- | | | |
|------------------------------|-----------------------------|------------|
| 1. 幼児教育学(幼稚園教諭を養成する) | 8. 社会学 | 15. 看護・保健学 |
| 2. 保育学(保育士を養成する) | 9. 社会福祉学 | 16. 医療技術 |
| 3. 教員養成系(主に小・中・高の教員を養成する) | 10. 心理学 | 17. 医・歯・薬学 |
| 4. 教育学(教育方法や教育問題について幅広く学ぶ) | 11. 文学(哲学、歴史学、地理学、文化学などを含む) | 18. 理学 |
| 5. 生活科学(食物・栄養学、被服学、住居学などを含む) | 12. 語学 | 19. 工学 |
| 6. 芸術学(美術・デザイン、音楽などを含む) | 13. 法学 | 20. 農・水産学 |
| 7. 総合科学(人間科学、総合情報学などを含む) | 14. 経済・経営・商学 | 21. その他() |

裏面へ →

大学ホームページ来訪者対象 調査票

小田原短期大学 保育学科 通信教育課程(男女共学) に関するアンケート

このアンケートは、小田原短期大学が2016年(平成28年)4月に入学定員増を計画している「保育学科 通信教育課程」に対する皆様のご意見をお伺いし、「保育学科 通信教育課程」の教育内容をいっそう充実させるための参考資料とさせていただきますために実施するものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「保育学科 通信教育課程」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

◆今後進学してみたい学校と、興味のある学びについてお聞きます。

Q1. あなたが、今後進学してみたいと思う学校の種類を教えてください。

以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- | | | |
|---------|--------------|----------------|
| 1. 短期大学 | 3. 大学院 | 5. その他() |
| 2. 大学 | 4. 専門学校・専修学校 | 6. 現在、進学の予定はない |

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。

以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- | | | |
|------------------------------|-----------------------------|------------|
| 1. 幼児教育学(幼稚園教諭を養成する) | 8. 社会学 | 15. 看護・保健学 |
| 2. 保育学(保育士を養成する) | 9. 社会福祉学 | 16. 医療技術 |
| 3. 教員養成系(主に小・中・高の教員を養成する) | 10. 心理学 | 17. 医・歯・薬学 |
| 4. 教育学(教育方法や教育問題について幅広く学ぶ) | 11. 文学(哲学、歴史学、地理学、文化学などを含む) | 18. 理学 |
| 5. 生活科学(食物・栄養学、被服学、住居学などを含む) | 12. 語学 | 19. 工学 |
| 6. 芸術学(美術・デザイン、音楽などを含む) | 13. 法学 | 20. 農・水産学 |
| 7. 総合科学(人間科学、総合情報学などを含む) | 14. 経済・経営・商学 | 21. その他() |

裏面へ →

【別紙】 学科説明資料

小田原短期大学 保育学科 通信教育課程に関する基本情報

※以下は予定の内容を含んでおり、変更する場合があります。

【理念・養成する人材像】

時代とともに変化する学習ニーズに応えるため、本学の通学課程と同様の教育を提供できる通信教育を実施することで、乳幼児や子育てに関する質の高い知識や技術を持つ幼稚園教諭及び保育士を養成する。

【学科構成】

学科名	課程	定員増 予定年度	入学 定員	修業 年限	コース名	主に取得可能な免許・資格
保育学科	通学課程	—	140名	2年	—	幼稚園教諭二種免許／保育士
	通信教育課程 (男女共学)	平成28年 4月	1500名	2年	こども教育コース	幼稚園教諭二種免許
			500名	2年	こども保育コース	幼稚園教諭二種免許／※保育士

※保育学科 通信教育課程は男女共学です。

※こども保育コースは、通信教育課程卒業後、専攻科(修業年限:1年)へ進学することで保育士資格の取得が可能です。

【設置場所】

小田原キャンパス (小田原駅より徒歩15分)

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

【主な開講科目】

保育者論、子どもの保健、保育内容総論、子どもの食と栄養、社会福祉、保育の心理学、造形表現、身体表現 等

【通信教育の方法】

本課程及び専攻科で開設する全70科目のうち、35科目をテキスト履修科目(印刷教材による授業科目)、31科目をスクーリング履修科目(面接による授業科目)、4科目をテキスト履修及びスクーリング履修併用科目に設定する。主に、「講義」の授業形態により実施する科目をテキスト履修科目に、「演習及び実験・実習」の授業形態により実施する科目をスクーリング履修科目とする。

①テキスト履修科目とは

学生はシラバス、指定教科書及び担当教員が執筆した「学習の手引き」等を用いて学習を進め、科目修得試験を受験し、単位を修得していく科目

②スクーリング履修科目とは

年9回(初年度を除く)、土日を中心としたスクーリング日程を設け、集中講義による授業を実施し、授業内に実施される課題、単位修得試験、事前あるいは事後課題等により総合的な評価により単位を修得していく科目

【学費及び入学手続き納付金(初年度予定額)】

保育学科 通信教育課程

入学諸費:選考料 10,000円、入学金 20,000円、学習管理費 5,000円、計 35,000円。

教育費等:授業料(スクーリング料・科目修得試験料 すべて含む) 計 270,000円。 ※資格・免許課程に関する追加での「履修費」はありません。

その他(費用)

テキスト代別途(1学年の目安¥ 40,000円)、その他(団体保険料、同窓会費、資格申請手数料等) 約 ¥ 15,000

【参考】 首都圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)にメインキャンパスを持ち 保育・幼児教育分野が学べる「通信制 短期大学」の学納金

短期大学名	学科名	入学諸費	教育費等	合計(円)	その他(費用)
帝京短期大学(東京)	こども教育学科	40,000	120,000 スクーリング別料金	160,000円	資格・免許課程履修費、教科書代は別途必要。 スクーリング受講料(1単位6,000円)。
聖徳大学短期大学部(千葉)	保育学科	40,000	96,600 スクーリング別料金	136,600円	免許・資格取得の場合、課程履修費が別途必要。 スクーリング受講料(1単位4,000円~5,000円)。

※私立大学通信教育協会 発行 「2015 大学通信教育ガイド(大学・短大編)」より、引用。

保育第93号
平成27年6月8日

文部科学大臣
下村博文様

小田原市長
加藤憲



小田原短期大学の食物栄養学科及び保育学科通信教育課程の
定員増について（要望）

日ごろ、本市行政に御配慮と御指導を賜り感謝申し上げます。

さて、小田原短期大学は、保育・子育て・食育などの専門教育を展開し、当市の子育て支援センターの運営に加え、教育委員会や子ども・子育て会議への参画など市政の様々な場面で大切な役割を担っていただいております。

当市では平成23年3月に「小田原市食育推進計画」を策定し、市民一人ひとりが食への感謝の気持ちを深め、健康で心豊かな生活を送ることができるよう、その実現に向け各種事業を展開しております。そのような中、同大学では子育て支援センターで栄養相談や食育に関する講座を実施するなど地域における食育を推進するとともに、食育を実践できる人材育成に取り組んでおります。

また、現在、待機児童の早期解消のため、保育所の整備等によって量的拡大を図ろうとしている中、保育士等の確保が喫緊の課題となっております。

さらに、本年4月から「子ども・子育て支援新制度」が施行となりましたが、保育所や幼稚園の現場では子どもの発達に関わる問題をはじめ、様々な課題を抱えており、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供には保育士資格と幼稚園教諭免許を併有した人材が必要となっております。

同大学の保育学科通信教育課程は、働きながら保育分野への就職を希望する人たちへの教育機会の提供に繋がるほか、現在勤務している保育者であっても、通信教育という学習スタイルを利用することで幼稚園教諭免許及び保育士資格の取得を目指すことができ、今後ますます需要は高まるものと考えております。

今回の小田原短期大学による食物栄養学科及び保育学科通信教育課程の定員増については、本市としても実現を強く望むものであり、貴職におかれましても格別の御高配を賜りたくお願い申し上げます。

事務担当：小田原市 福祉健康部健康づくり課

井澤 電話 0465-47-0820

子ども青少年部保育課

大井 電話 0465-33-1451